



東串良町立池之原小学校 学校だより

はばたけ！けやきっ子

令和7年度 8月21日発行 NO.5



残暑お見舞い 申し上げます

夏休み 残り10日です

校長 牧本 佳代子

まだまだ暑い日が続いておりますが、皆様、お変わりなくお過ごしのことと思います。夏休みが約4分の3終わりましたが、これまで子供たちの事故や怪我の連絡はありません。元気に過ごしていることと嬉しく思います。子供たちは、夏休みですが、職員は勤務です。しかし、子供たちのいないこの時期に、積極的に休みをとっています。子供たちもですが、職員も走り続けた1学期でしたので、ここで一息、休養も必要です。リフレッシュウィーク（8/11～8/17）中、間に完全閉庁日（8/13・14・15）もあって、この間、学校は閑散としていました。

子供たちにお願ひしたことの一つに「夏休みにしかできないことをする」がありました。子供たちは何を経験・体験しているのでしょうか。昼間は暑すぎて、公園で遊んでいる姿はほとんど見かけませんでした。学童に行っている子供も多く、職員が様子を見に行ったら、学習に取り組んでいる子供やみんなで工作をしている子供や友達と喧嘩が勃発している子供などいたようです。学校外で過ごす時間が長い夏休みです。家族で思い出づくりもできたことでしょう。そろそろ、学校が始まる2学期へ向けて、心と体と物の準備を進めましょう。

全国学力テストの結果より(6年生4月受験分)

現6年生が4月に受けた全国学力・学習状況調査の結果が出ました。この調査は、文部科学省が全国の小学校6年生と中学校3年生全員を対象とした学力テストと学習に関する質問紙からなる調査です。4月に6年生になった子供が春休みに言った言葉が衝撃でした。「僕、春休み中、一回も鉛筆を持たなかった。」冗談にしても、「どうということ？」と思いました。春休みは、学校から決まった課題（宿題）がない分、自分で考えて復習などに取り組める休みではあったのですが、その間、学習らしい学習をしなかったと捉えられても仕方ありません。結果は、県や全国平均をかなり下回っています。この現実を重く受け止めています。

【平均正答率】

教科	本校（県との差）	鹿児島	全国
国語	52（－15）	67	66.8
算数	42（－15）	57	58.0
理科	48（－12）	60	57.1

細かい分析は係や学年で行い、全体に共有します。今回は成果もありますが、課題についてお知らせします。

【課題】

全体的に・・・

- ・記述式の正答率が低い。そもそも何も書いていない。無答が多い。（何を書いてよいのか、どう書いてよいのか分かっていない。）
- ・文意を捉えられない。（文章の意味が分からない。何を聞かれているのか分からない。）
- ・粘り強く考えたり、解いたりせず、すぐにあきらめている。（テストに疲れた。）

国語

- ・情報の扱い方に関する事項と読むことに課題がある。

算数

- ・小数や分数の計算の仕方、図形の面積の求め方、文章問題に課題がある。

理科

- ・電気を通す・磁石に付く物、種子の発芽の条件に課題がある。

【2学期からできること】

- 学習へ向かう力を付ける。（誰のための学習か、学びへの意欲をもたせる手立てを講じる。成功体験を積ませる。学力を付けることで、今後進路の選択肢が広がる等）
- 理解不足の内容や領域の復習を行い、確実な定着を図る。（学校と家庭学習の連動、家庭の見届け）
- 「魅力ある学校づくり」「学習者主体の授業づくり」をさらに進める。



子供の「やる気スイッチ」を探せ！！



今、小中一貫教育の中で、本年度は「学習者主体の授業づくり」に取り組んでいます。学習者主体とは、「子供たちが『自ら問いを発見する』、『解決の方法を見通す』、『課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する』、『自らの学びを振り返り、次に生かす』といった姿」です。（県教育委員会 HP より）これまではややもすると教師主導の授業となり、子供たちは受け身的でありました。やらされている感が否めません。それでは子供たちの力にならないということで、学習者、つまり子供たち自身が主体的（進んで）に学ぶように仕掛けていかなければなりません。教師は、子供たちの実態をよく知り、興味・関心があることを把握し、子供たちの気持ちを向かわせる授業づくりが大事となるため、2小学校と中学校共同で研修を行っています。

平和への誓い（8月6日 広島平和記念式典で地元の小学生が述べた全文 HP より）

いつかはおとずれる、被爆者のいない世界。同じ過ちを繰り返さないために、多くの人が事実を知る必要があります。原子爆弾が投下されたあの日のことを、思い浮かべたことはありますか。昭和20年（1945年）8月6日 午前8時15分。この広島に人類初の原子爆弾が投下され、一瞬にして当たり前の日常が消えました。誰なのか分からないくらい皮膚がただれた人々。涙とともに止まらない、絶望の声。一発の原子爆弾は、多くの命を奪い、人々の人生を変えたのです。被爆から80年が経つ今、本当は辛くて、思い出したくない記憶を伝えてくださる被爆者の方々から、直接話を聞く機会は少なくなっています。どんなに時が流れても、あの悲劇を風化させず、記録として被爆者の声を次の世代へ語り継いでいく使命が、私たちにはあります。世界では、今もどこかで戦争が起きています。大切な人を失い、生きることに絶望している人々がたくさんいます。その事実を自分のこととして考え、平和について関心をもつこと、多様性を認め、相手のことを理解しようとする。一人一人が相手の考えに寄り添い、思いやりの心で話し合うことができれば、傷つき、悲しい思いをする人がいなくなるはず。周りの人たちのために、ほんの少し行動することが、いずれ世界の平和につながるのではないのでしょうか。One voice. たとえ一つの声でも、学んだ事実思いを込めて伝えれば、変化をもたらすことができます。大人だけでなく、こどもである私たちも平和のために行動することができます。あの日の出来事を、ヒロシマの歴史を、二度と繰り返さないために、私たちが、被爆者の方々の思いを語り継ぎ、一人一人の声を紡ぎながら、平和を創り上げていきます。



6年ろ組 田布尾 逢桜（たぶお あいは）さん
4年ろ組 田布尾 月愛（たぶお るのあ）さん
姉妹は、この夏、バレーボールで全国大会（8/4～7）に出場しました。日頃から、バレーボールに真摯に向き合い、練習に励んでいます。学級での様子を聞くと、学習にも真面目に取り組み、何事も一生懸命だそうです。今後の活躍にも期待します。



6年ろ組 外西 慧章（ほかにし けいしょう）さん
6年い組 西之園 陸叶（にしのも りくと）さん
5年い組 水溜 晴多（みずたまり はるた）さん
5年ろ組 河野 晴将（こうの はるまさ）さん
この4人はドッジボールで全校大会（8/17）に出場しました。鹿屋のチームに所属しています。今後も「文武両道」でがんばってほしいです。

8・9月の主な行事

8月

23日(土) PTA 愛校作業【予備日 30日】
27日(水) 給食センター落成記念式典



9月

1日(月) 2学期始業式〔給食なし〕
2日(火) 身体計測・視力検査（～3日）
9日(火) ビカピカチェック
17日(水) 小中一貫教育研究会〔給食後下校〕
18日(木) 町就学相談会

